



会員数 30 名

城里防ボラ会 会報 第16号

発行日 令和7年1月吉日
発行元 城里町地域防災
ボランティア会
責任者 会長 西村 正夫

茨城県簡易郵便局連絡会 女性部研修会開催

昨年11月16日(土)に、茨城県簡易郵便局連絡会 女性部から要請があり、水戸市民会館 会議室で18名の参加により「**避難所開設・運営**」研修を実施した。講師は、当会会長・西村正夫(防災士)が担当した。

当日は、前半で「避難所の開設・運営に関する概要」(基礎知識)を学び、後半は、4~5名1グループになり施設図面を使って、「**避難所の部屋割り**」演習を行い、その後、各グループから考え方を発表した。

参加者からの声として、アンケートでは、当研修会について「とても良かった」「良かった」と16名(94.1%)が回答。「なかなか避難所について考える事もなかったので、とても勉強になり、もし災害の起きた場合にどうすれば良いか参考になった。」「避難所について、具体的に考える事で、とても勉強になりました。自助・共助に務めたいと思います。」等の声も寄せられた。



各グループ代表の発表風景

当会共催の防火訓練を開催



DVD上映・講話等の風景

尚、当日の参加者は、3団体で合計42名でした。**参加者の声**に「本日の訓練内容をいざの時に、命を守る行動に活かしたい。」「今回の様な啓発活動や火災訓練は、せめて1年に1回は実施すると良いと思います。」等とあり、企画実施する立場としては、嬉しく・励みになりました。

昨年11月24日(日)快晴の下、午前10時から正午迄の2時間、城里町地域防災ボランティア会、同町石塚西区・下坏区自主防災会の共催で「**防火訓練**」を実施した。当日は、室内で北水戸消防署城里町出張所で水戸市消防局の稲田係長、大塚消防士長のDVD上映と講話を行い、屋外で消火器を使い「**初期消火**」の訓練を行った。



消火器を使用した初期消火訓練風景

令和6年度「桂小防災教室」を担当

昨年12月10日(火)午後1時30分から約2時間、城里町立桂小学校での「**防災教室**」を担当した。参加者は、141名(内訳:児童生徒74名、教職員14名、区長8名、保護者35名、講師等6名)で、内容は、震災を想定した避難訓練の後、音楽室でAグループが「**災害(地震・大雨)時の避難所での生活**」をテーマに講話、体育館でBグループが「**簡易テント・ベッドの立上げ**」演習を、約45分で行い、その後、A・Bグループを入れ替えて、同じ内容を行った。

講師は、音楽室が「い・防災研究所」所長 飯村孝一氏、体育館が当会会長 西村正夫氏、副会長 大門正生氏、防災士 大矢利彦氏、同 石川敏夫氏の4名が担当した。



簡易テントの立上げ風景



簡易ベッドの立上げ風景

参加者の声は、児童生徒を代表して5・6年生23名がアンケートに対応した。本日の防災教室の内容に「とても良い」と21名(91.3%)が答え、具体的には、「災害時の避難所での生活」の講話に12名(52.2%)、「簡易テント・ベッド」の設営に21名(91.3%)が回答。「防災教室の説明が分かりやすかったし、簡易ベッド・テントの体験が出来て楽しかったし、とても参考になって良かった。」「今日の防災教室は、とても良い体験になりました。」等の声も寄せられた。

尚、同小学校での**防災教室**について、後日、**茨城新聞**12月16日付15面で掲載され、大きな反響があった。

豆知識 能登半島の災害から教訓「**避難所環境 抜本改善**」へ(スフィア基準<国際基準>導入)

政府は12月13日、1月に発生した能登半島地震を踏まえ、避難所の運営指針を改定した。被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示す「**スフィア基準(国際基準)**」を取り入れ、今後、地方自治体に周知し、避難所の環境改善や備蓄強化を促す。(つまり、避難所の**T<トイレ>K<キッチン>B<ベッド>**を中心にした改善)

具体的に、**トイレ**に関しては、発災当初は「50人に1基」、その後は「20人に1基」を配備し、男性用と女性用の比率を1対3とするよう推奨。**入浴施設**は「50人に1つ」。避難所内の1人あたりの**居住スペース**は「最低3.5㎡(畳2畳分)」で段ボールベッドなどが置ける広さ。避難者に**温かい食事**が提供できるよう、地域内でキッチンカーを手配するなど。私達防災に関わる者として、新基準をよく理解していざの時に適切な対応をしましょう。

今後の行事予定 次回拡大理事会 3月16日(日)午後1時～ 於:コミュニティーセンター城里 サークル室C

～**防災活動等にご賛同頂けます方をお待ちしております**～

ご要望・ご意見・活動報告等をお気軽にお寄せ下さい。

会員皆様の活動報告等を積極的にお寄せ下さい。文量は、300～400字位にまとめて、FAXやメール等でお寄せ下さい。送信先や当会報はじめ各種のお問い合わせは、下記の間合せ・送信先へお願い致します。

間合せ・送信先

事務局長 **中尾 真一郎**

携帯電話 090-5414-2836

電話 029-288-7847 (FAX可)

E-mail **n skk.2030.bobora@gol.com**